



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月7日

上場会社名 ムーンバット株式会社

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

上場取引所 東

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

TEL 075-361-0381

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,095	6.1	720	32.4	707	35.8	586	37.8
2025年3月期第1四半期	3,858	18.9	544	25.3	520	18.7	425	8.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 569百万円 (30.2%) 2025年3月期第1四半期 437百万円 (10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	130.13	—
2025年3月期第1四半期	94.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	10,841	5,872	54.1	1,300.27
2025年3月期	9,934	5,469	55.0	1,211.28

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,861百万円 2025年3月期 5,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	37.00	52.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 140周年記念配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	2.9	550	21.7	550	17.3	450	22.9	99.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	4,774,719 株	2025年3月期	4,774,719 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	267,045 株	2025年3月期	266,985 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	4,507,719 株	2025年3月期1Q	4,515,891 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られる一方、地政学的リスクの長期化、アメリカの関税政策の動向、物価の上昇による景気の減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

服飾雑貨業界におきましても、インバウンド消費の減速が一部で見られ、為替相場の変動、仕入コスト高騰の恒常化、物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、事業環境へのマイナスの影響が懸念されております。

このような経営環境の下、当社グループは2025年3月期から2027年3月期までの「中期経営計画」を策定し、成長戦略として、「専門店マーケットへの商品開発及びマーケティングの強化」、「直営店・小売事業の拡大に向けた新たな店舗戦略の展開」、「Eコマース事業の更なる拡大」、「国内外の新規販路開拓」の4つの施策を実行しております。また、その前提として、自社ブランドの育成・確立、人材投資の積極化による採算性、生産性の向上を目指し、各販路に対する最適な商品・人的配置、リスクとコストを意識したサプライチェーンの再構築と適時適切な仕入販売コントロールによる在庫の最適化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の高度化・活用を含めた販売管理費のコントロールを推進しております。

業績につきましては、中期経営計画の着実な実行の下、当社グループにおいては、昨年続く猛暑に対応した販売施策の推進、特に、専門店・Eコマースマーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチ強化も奏功し、春夏物の販売が好調に推移したことから売上高は前年同四半期を上回りました。継続的な原材料高による仕入価格の上昇はあるものの、商品・人員配置の最適化、プロパー販売の促進等による利益率の改善により、損益面も売上増加に伴う販売関連経費及び人的資本投資に関わる人件費の増加を吸収し前年同四半期を上回りました。

その結果、連結売上高は40億95百万円（前年同四半期比6.1%増）、連結営業利益は7億20百万円（前年同四半期比32.4%増）、連結経常利益は7億7百万円（前年同四半期比35.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億86百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①身の回り品事業

身の回り品事業につきましては、昨年続く猛暑を背景に、春夏物については、専門店を中心に各販路における販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。各販路に対応したきめ細かい商品開発・提案、プロパー販売の促進等の販売施策を推進することにより、継続的な仕入コストの上昇、売上増加に伴う販売管理費等の増加も吸収し、セグメント利益も前年同四半期を大幅に上回りました。

洋傘部門につきましては、昨年引き続き猛暑の到来により、パラソルマーケットが活況を呈したことに加え、専門店・Eコマースマーケットへの商品開発、マーケティング等のアプローチの強化も奏功し、売上高は前年同四半期を上回りました。

洋品部門につきましては、一部インポートブランドの活性化もあり、売上高は前年同四半期を上回りました。

帽子部門につきましては、昨年12月のインバウンドを中心に人気を博したライセンスブランドの取扱終了に伴うマイナス影響を自社ブランドの販売展開により一部カバーしたものの、売上高は前年同四半期を下回りました。

毛皮・宝飾部門につきましては、エコファーマーケット等のサステナブルな提案、百貨店外商ルートの活用及び催事展開にも注力しましたが、売上高は前年同四半期並みにとどまりました。

以上の結果、身の回り品の売上高は39億86百万円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は、7億15百万円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

②情報サービス事業

情報サービス事業につきましては、業務のIT化、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進ニーズの高まりを捉え、システム開発受託・販売、保守・メンテナンス等に引き続き注力しておりますが、グループ内取引の増加もあり、売上高は前年同四半期を下回りました。しかしながら、販売管理費等の削減もあり、セグメント利益は前年同四半期対比増益となりました。

その結果、売上高は、1億9百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は、12百万円（前年同四半期比412.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9億6百万円増加して108億41百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が4億95百万円増加したこと、商品及び製品が2億92百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億3百万円増加して49億68百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと、支払手形及び買掛金が1億31百万円増加したこと、及び電子記録債務が77百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億2百万円増加して58億72百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億86百万円計上したこと、及び剰余金の配当を1億66百万円実施したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,343,187	1,404,245
受取手形及び売掛金	1,478,133	1,973,893
商品及び製品	2,587,955	2,880,465
仕掛品	4,721	2,911
原材料及び貯蔵品	53,523	49,351
返品資産	250,422	229,798
その他	270,351	278,101
貸倒引当金	△7,000	△14,000
流動資産合計	5,981,295	6,804,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	826,359	810,243
土地	1,677,848	1,677,848
その他（純額）	81,374	82,082
有形固定資産合計	2,585,582	2,570,174
無形固定資産		
のれん	47,115	44,170
その他	320,047	309,877
無形固定資産合計	367,162	354,048
投資その他の資産		
その他	1,028,801	1,140,416
貸倒引当金	△28,201	△28,201
投資その他の資産合計	1,000,599	1,112,214
固定資産合計	3,953,344	4,036,437
資産合計	9,934,639	10,841,205
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	542,989	674,878
電子記録債務	124,143	201,321
短期借入金	2,200,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	23,268	140,588
未払法人税等	91,638	119,931
賞与引当金	103,186	74,588
返金負債	398,393	377,538
その他	435,974	561,837
流動負債合計	3,919,594	4,550,684
固定負債		
長期借入金	123,137	—
退職給付に係る負債	340,983	335,867
その他	81,189	82,265
固定負債合計	545,309	418,132
負債合計	4,464,904	4,968,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	1,608,016	2,027,801
自己株式	△154,415	△154,480
株主資本合計	5,309,806	5,729,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,795	71,428
繰延ヘッジ損益	15,376	937
為替換算調整勘定	56,055	47,142
退職給付に係る調整累計額	13,089	12,175
その他の包括利益累計額合計	150,316	131,684
非支配株主持分	9,612	11,175
純資産合計	5,469,735	5,872,387
負債純資産合計	9,934,639	10,841,205

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,858,391	4,095,537
売上原価	2,183,012	2,188,531
売上総利益	1,675,378	1,907,006
販売費及び一般管理費	1,131,339	1,186,784
営業利益	544,039	720,222
営業外収益		
受取利息	512	832
受取配当金	2,402	2,898
不動産賃貸料	10,546	10,458
その他	1,148	1,518
営業外収益合計	14,610	15,707
営業外費用		
支払利息	4,917	7,067
為替差損	23,349	3,149
不動産賃貸原価	6,637	7,047
投資有価証券評価損	—	10,830
その他	2,908	648
営業外費用合計	37,812	28,743
経常利益	520,837	707,185
税金等調整前四半期純利益	520,837	707,185
法人税、住民税及び事業税	67,787	103,291
法人税等調整額	26,685	15,957
法人税等合計	94,472	119,249
四半期純利益	426,364	587,935
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	672	1,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	425,691	586,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,954	5,831
繰延ヘッジ損益	—	△14,438
為替換算調整勘定	11,856	△8,913
退職給付に係る調整額	△3,862	△913
その他の包括利益合計	10,947	△18,433
四半期包括利益	437,312	569,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436,726	567,939
非支配株主に係る四半期包括利益	586	1,562

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	38,433千円	39,692千円
のれんの償却額	2,833	2,944

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,740,743	117,647	3,858,391	—	3,858,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	60	60	△60	—
計	3,740,743	117,707	3,858,451	△60	3,858,391
セグメント利益	540,184	2,357	542,542	1,497	544,039

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、セブンシステム株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては56,665千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「衣服装飾品」、「身回り品」の区分から、「身の回り品事業」「情報サービス事業」に報告セグメントを変更しています。この変更は従来の「衣服装飾品」の主たる取扱品である毛皮の継続的なマーケットの縮小と、低価格化の進行により、「身回り品」との販路・販売形態の区別が無くなってきていることから、両セグメントを一体としてより実態に合わせた経営管理を行うことを目的とするものです。

また、当第1四半期連結会計期間にセブンシステム株式会社を新規に連結子会社化したこととともない、「情報サービス事業」を新しい報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	身の回り品 事業	情報サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,986,356	109,181	4,095,537	—	4,095,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,772	9,772	△9,772	—
計	3,986,356	118,953	4,105,309	△9,772	4,095,537
セグメント利益	715,812	12,091	727,904	△7,682	720,222

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。